

# 強い企業へ自社株活用

## 買収やグループ再編

上場企業が自ら保有する自社株式の活用には動いている。M&A(合併・買収)の対価として現金の代わりに自社株を用いたり、社会貢献のために拠出したりして使い方の幅が広がっている。上場企業が抱える自社株は総額16兆円規模に膨らんでいる。余剰であれば売却してしまおうことも含めて、企業の自社株活用にはさらに磨きがかかれば、資本市場全体が活性化すると期待につながる。

### 上場企業、16兆円規模に

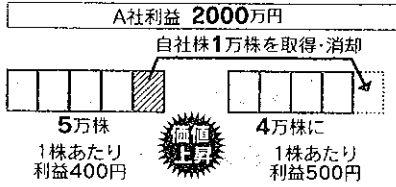
企業は資金的な余力がある。向きの事業活動に生かす動きが出てきている。出ると自社株を買い取ることで、市場で流通する株式を減らすことができる。1株の価値を押し上げるのが狙いであり、買取りに自社株を使える。買入れた自社株は「金庫株」とも呼ばれる。これを元手にして、企業が前

#### 株式交換の原資

M&Aでは現金の代わりに自社株を使える。買取りに自社株を使える。買入れた自社株は「金庫株」とも呼ばれる。これを元手にして、企業が前

#### 自社株の主な活用方法

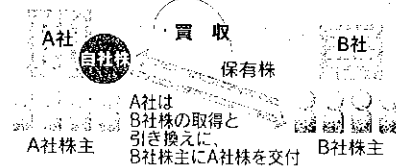
取得・売却すると1株あたりの価値が上昇する



三井物産 発行済み株式の1.8%を4月に売却予定

ヤフー 発行済み株式の1.0%を今月28日に売却

#### 現金の代わりに自社株で買収(株式交換)



エイチ・ツー・オーリテイィング イズミヤを完全子会社化

日立製作所 日立メテイクを完全子会社化

#### 報酬制度などに活用

トヨタ 新興国で交通の発展を促す新基金の活動原資に

ロート製薬 従業員に自社株を給付する報酬制度に拠出

#### 「筆頭株主が自社」に

企業名(一部略称)	保有比率(%)
ファナック	18.3
キャノン	14.8
セイコーエプソン	10.5
小野薬品工業	10.0
ヤマトHD	8.2
大日本印刷	8.0
LIXILグループ	7.1
富士フイルムHD	6.4
パナソニック	5.8
住友金属鉱山	5.1

(注)発行済み株式数に対する自社株の比率、昨年末時点

「御手洗富士夫会長兼社長」と意欲を見せる。こうした企業が増えれば、事業再編がいつそう加速する可能性がある。M&A以外にも使われる。日付でグループの日立メテイクを完全子会社化、アシックスもアシックス商事を完全子会社化する。実際に自社株を活用している。キャノンの場合、保有する自社株の時価が6000億円を超す。将来的に大型の買収案件などが出れば、株式交換などで原資として活用でき

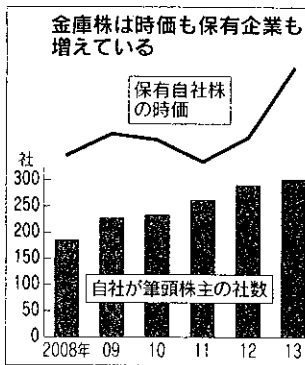
#### 「自社筆頭」30社

上場企業が内部に抱える自社株は膨らんでいる。有価証券報告書などをもとに集計すると、筆頭株主が自社という企業は、昨年末時点でファナックなど300社を超え

### 株式交換でのM&A、海外では主流

市場などから自社株を取得し、買収の「通貨」のように使われ、買収した株式を帳簿から消し去る売却をせず、そのまま保有している株式のこと。2001年に解禁され、03年に取締役会が自社株買戻の時期や取得額を設定できるようにすると、自社株買戻も増加した。M&A(合併・買収)における金庫株を再び売り出すこともあ

#### 金庫株



#### 米国のD&D

物産は、4月に取得分を売却することを決めた。大きな投資が一巡、今後「消却」を発表した。米国企業に比べると、日本ではM&Aなどに自社株を活用する動きは少ない。野村証券の西山賢吾氏は「消却するか、M&Aなどに活用余地があるのか」など、将来的な方針を示す必要があるという。